

# 研究成果発表会・講演会

参加費無料

日時 令和6(2024)年  
11月8日(金)  
13:20~15:50

場所 富山県薬事総合研究開発センター  
2階 大会議室  
〒939-0363 富山県射水市中太閤山17-1

講演 13:20~

## 「核酸医薬およびmRNA医薬の規制整備に向けた取り組み」



国立医薬品食品衛生研究所 遺伝子医薬部長 井上 貴雄 氏

近年、生体をmRNAのレベルで制御する核酸医薬およびmRNA医薬の実用化が進んでいます。本講演では両モダリティの基礎と開発動向を概説するとともに、これらの新規技術の規制整備に向けた取り組みを国立衛研の研究成果を交えながら紹介していただきます。

研究成果発表 14:45~

### ①ICP-MSを活用した医薬品中の元素不純物分析

試験課主任研究員 高山 信幸

第十八改正日本薬局方において、一般試験法の元素不純物試験法<2.66>に係る規定に従って製剤を管理する旨の記載が通則34に盛り込まれ、令和6年6月の第2追補では、皮膚適用製剤などに関する元素不純物の管理が規定されました。当センターでは、これまで錠剤や液剤を対象に当該試験法のバリデーションを実施してきました。今回、経皮吸収製剤について実施したので、その内容について報告します。

### ②県産ハトムギの薬用利用に向けた品質確保に関する調査

薬用植物指導センター主任研究員 田村 隆幸

国内最大のハトムギ産地である富山県では、生薬ヨクイニン（薏苡仁）の生産への関心も高い。本来、ハトムギのデンプンはモチ性ですが、栽培過程で近縁種ジュズダマと交雑した場合その種子はウルチ性を示し、第18改正日本薬局方の確認試験で不適となります。そのためハトムギの薬用栽培においては、ウルチ性の混入を防ぐ必要があります。本発表では、この混入リスクの確認及び薬用栽培の実証に係る調査結果について報告します。

申込  
方法

以下のURL（フォーム）またはFAXにてお申込みください。

お申込期限：11月1日（金）

<https://shinsei.pref.toyama.lg.jp/SksJuminWeb/EntryForm?id=QdxWdtP8>



お問い合わせ

富山県薬事総合研究開発センター 研究協力課 担当：浅井  
TEL：0766-56-6026（代表） FAX：0766-56-7285